

ライン工房  
情報誌

第47号

# 街の風

企画・制作  
社会福祉法人 ライン工房

〒861-8041

熊本市東区戸島5丁目8番6号

TEL 096-380-5752

FAX 096-380-1343

E-mail rine2001@alpha.ocn.ne.jp

URL <http://line-koubou.net/>

## 一人ひとりが街の風になろう



理事長 小仲 邦生

平成元年に創刊した本誌「街の風」の揮毫は、創業時に関係が深かった熊本県身体障害者福祉団体連合会の田畑隆敏さん（故人）にお願いしました。当時、私たちは「障害の有無、軽い重いに関係なく、住みたい所で、暮らすことは当然のこと」という考え方が大それたことではなく、街に吹く風のように当たり前のこととして受け入れられる地域社会にしよう!!そのような社会の実現を目指すことを発信する情報誌として「街の風」が誕生しました。が3号で止む無く休刊。その後平成10年10月に復刊し今日に至っております。

障害者地域生活作業所ライン工房は、昭和63年4月、熊本市長嶺に開設しました。名づけ親としては、単なる小規模作業所ではなく、「地域生活」を加えたことを強調しておきたいと思います。ライン工房が誕生したのは長嶺という“場所”ですが、風がどこで生まれるのかを誰も知らないように、その源をたどれば場所ではなく、設立に関わった人々の“思い”に行き着くのではないのでしょうか。デンマークを発祥の地とした「ノーマライゼーション」思想、アメリカのカリフォルニア州バークレーから始まった「インディペンデントリビング～重度障害者自立生活運動」思想等これらがもたらした考えが創立に至った背景にあったことも事実です。

作業所開設当初から厳しい運営は覚悟していましたが、利用者の工賃ねん出のため、西嶋代表のご苦勞は言葉に言い尽くせぬものがあったことと

思います。毎月の「廃品回収」や「作業手伝い」。後に始めた「野菜販売」等草創期の利用者ご家族には大変な勞を強いたのではないかと思います。そのようなことから経営基盤を確立するためにも近い将来社会福祉法人格を、と本格的に始動したのは作業所開設から2年後の平成2年でした。

平成6年11月、熊本県主管課（当時は障害福祉課）のご指導と支援により社会福祉法人ライン工房が認可されました。翌年7月1日、戸島の現在地に定員20人の通所授産施設ライン工房の開設を迎えました。昔から7月1日は“ハレの日”なので晴天になる、との予言どおり梅雨期にもかかわらず晴天に恵まれました。武田幸之助初代理事長（故人）と西嶋龍文施設長（2代目理事長）他来賓の皆様によるテープカットで開設を祝ったのは22年前となりました。作業所時代から数えれば来年で30年。この間、時代のニーズに合わせデイサービスセンター「ゆう工房」、アンテナショップ「街の風」、生活支援センター「青空」、グループホーム「ゆうゆう館」「れん」等の事業を展開してきました。また、来年春には、3つ目のグループホームの開設を予定しています。

時代は経てもライン工房につながる一人ひとりが、その意思や理念を継承し、発展させていただきたいと心から願うばかりです。

本年6月、3代目の理事長に就任いたしました。がこれからも末永くご支援いただきますよう宜しくお願い申し上げます。